

第67期中間報告書 (平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)

**RIX** リックス株式会社



## 「メーカー商社」として 世界の産業界に貢献します

### ごあいさつ

株主の皆様には、ますますご清栄のこと  
とご拝察申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し  
上げます。

さて当社第67期中間期(平成24年4月1日  
から平成24年9月30日まで)における業績  
のとりまとめを終えましたので、ここに第  
67期中間報告書をお届けします。

株主の皆様におかれましては、今後とも  
一層のご支援を賜りますようお願い申し上  
げます。

代表取締役会長 安井 龍之助  
代表取締役社長 松浦 賢治

### Corporate Identity

培われた伝統のもとに、さらに未来への飛躍を図るというイメージを表現しています。



- R** 自社ブランド「ROCKY」の頭文字
- I** INDUSTRY(工業/産業)の頭文字
- X** 無限の可能性と将来性

リックスの青色  
信頼を表すブルー

リックスの赤色  
躍動感あふれるレッド



### 商品

#### 圧力発生機



▶ プランジャーポンプ  
高圧水の発生源となるポンプ  
高圧水洗浄装置の動力源として利用

#### 応用機器・システム商品

▶ 多用途の高圧水洗浄機  
(ロッキーワッシャー)



▶ 金属接合機 (TOX)  
異種金属板を接合する機械

#### 付属機器・部品



▶ オイルシール類  
高圧の水・油を密封し外に漏れないようにする  
外部からダストが侵入するのを防ぐ

#### 関連技術商品



▶ 三方ピストン弁 (ロッキーバルブ)  
高圧のガス等の流量を調整する弁  
主にタイヤメーカーの加硫機に使用

### 製品

#### 応用機器・システム製品

▶ フラックス精密洗浄装置  
半導体新製品 (CSP, BGA等)  
の製造工程に使用されるフラ  
ックスを除去し、純水にて精  
密仕上げ洗浄を行う装置



▶ NC高圧洗浄機  
(ジェットフレックス)  
自動車業界向けの、高圧  
水を利用した部品の深穴  
の金属バリ取装置



#### 付属機器・部品

▶ クリーンルーム対応  
ロータリージョイント  
半導体業界で、CMP設備な  
どに水や研磨剤などを供給  
する回転継手



▶ 工作機械用  
ロータリージョイント  
マシニングセンターでク  
ラント液をスピンドル  
から噴射する用途に  
使用する回転継手

### 営業区分

リックスはお客様のニーズ  
に迅速・的確に対応できる  
顧客密着型の「メーカー商  
社」という業態です。

鉄 鋼

自動車

電子・半導体

ゴム・タイヤ

環 境

紙パルプ

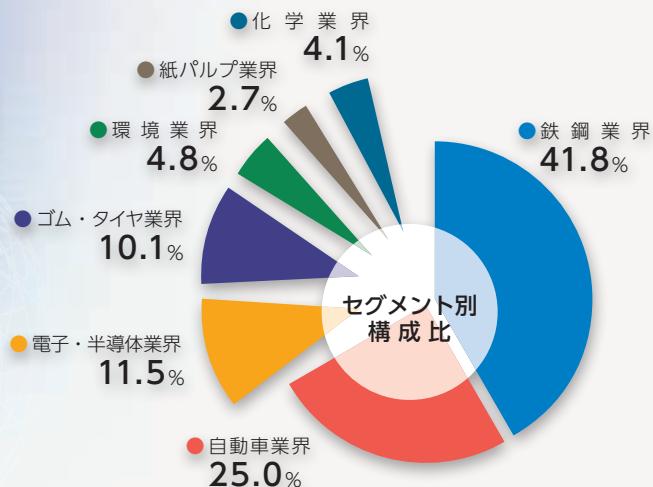
化 学

その他

商  
社  
機  
能

メ  
ー  
カ  
ー  
機  
能

## セグメント別事業の概況



### 鉄鋼業界

● 売上高

**48億86**百万円

▶ (前年同期比5.7%減)



建設用鋼材が伸びたものの総じて国内向けは減少傾向がみられ、8月には6ヵ月ぶりに普通鋼材の内需全体が前年同月比マイナスとなりました。粗鋼生産量は前年同期をわずかに上回ったものの、9月には7ヵ月ぶりに前年同月比マイナスとなっており、円高で振るわない輸出と高水準の輸入が続く状況を反映しています。

当社グループにおきましては、製鋼用副資材としての脱磷材の売上が伸び、海外製鉄所向け結束機等の設備投資案件があったものの、前年同期に好調な販売実績を残した土壤黒鉛のマイナスを補うまでに至りませんでした。

この結果、鉄鋼業界向け全体としての売上高は48億86百万円(前年同期比5.7%減)となりました。

### 自動車業界

● 売上高

**29億27**百万円

▶ (前年同期比17.7%増)



エコカー補助金の政策効果により、国内需要は前年同期を上回っていましたが、補助金が終了した9月は12ヵ月ぶりにマイナスに転じました。一方、工作機械の受注は8月に一時的に落ち込んだものの、9月には北米や東南アジア向け輸出が外需を押し上げ、好調の目安とされる内需・外需の受注総額1,000億円を回復しています。

当社グループにおきましては、自社製回転継手の販売が伸び、売上・利益両面に貢献しました。また、国内外の連結子会社も好調なセールスを記録し、売上増加分の47%を占めました。

この結果、自動車業界向け全体としての売上高は29億27百万円(前年同期比17.7%増)となりました。

### 電子・半導体業界

● 売上高

**13億45**百万円

▶ (前年同期比21.3%減)



国内の半導体製造装置については受注・販売とも前年同期を下回り、特に受注額の減少傾向が鮮明になってきています。FPD製造装置についても受注・販売とも総じて前年同期を下回りましたが、販売額の減少傾向に対し受注額には増加傾向がみられ、9月は13ヵ月ぶりに前年同期を上回りました。

当社グループにおきましては、半導体製造装置向けフラックス洗浄装置やナノ微粒化装置等プラス材料はあったものの、前年同期に好調な販売実績を残した太陽電池向け石英加工品やウェハ―移載機のマイナスを補うまでに至りませんでした。

この結果、電子・半導体業界全体としての売上高は13億45百万円(前年同期比21.3%減)となりました。

### ゴム・タイヤ業界

● 売上高

**11億78**百万円

▶ (前年同期比19.5%減)



加硫機用断熱板や水圧BAGシリンダー、油圧シリンダー等が売上増に寄与したものの、加硫機の改造・補修品やバルブの落ち込みをカバーできず、ゴム・タイヤ業界全体としての売上高は11億78百万円(前年同期比19.5%減)となりました。

### 環境業界

● 売上高

**5億62**百万円

▶ (前年同期比5.0%減)



比較的利益率の高い膜分離システムの販売が好調だったものの、前年同期に大きなプラスとなった下水処理施設向けボールジョイントの販売を補うまでに至らず、環境業界向け全体としての売上高は5億62百万円(前年同期比5.0%減)となりました。

### 紙パルプ業界

● 売上高

**3億14**百万円

▶ (前年同期比5.3%減)



抄紙工程で使用されるルーツプロアーの販売が伸びたものの、ポンプ類の落ち込みをカバーできず、紙パルプ業界全体としての売上高は3億14百万円(前年同期比5.3%減)となりました。

### 化学業界

● 売上高

**4億78**百万円

▶ (前年同期比4.2%減)



石油化学プラント向け逆止弁等のプラス要因があったものの、前年同期に売上増に寄与した塩化炉の開口機の販売を補うまでに至らず、化学業界全体としての売上高は4億78百万円(前年同期比4.2%減)となりました。



# 連結財務諸表

## ● 連結貸借対照表

単位：百万円

科目	前第2四半期末 (平成23年9月30日現在)	当第2四半期末 (平成24年9月30日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	14,799	14,573
固定資産	4,318	4,571
有形固定資産	1,797	1,855
無形固定資産	83	88
投資その他の資産	2,437	2,628
<b>資産合計</b>	<b>19,118</b>	<b>19,144</b>

科目	前第2四半期末 (平成23年9月30日現在)	当第2四半期末 (平成24年9月30日現在)
<b>負債の部</b>		
流動負債	10,012	9,776
固定負債	1,008	838
<b>負債合計</b>	<b>11,020</b>	<b>10,615</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	7,714	8,230
資本金	827	827
資本剰余金	683	683
利益剰余金	6,281	6,797
自己株式	△79	△79
その他の包括利益累計額	33	△60
少数株主持分	349	359
<b>純資産合計</b>	<b>8,097</b>	<b>8,529</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>19,118</b>	<b>19,144</b>

## ● 連結損益計算書

単位：百万円

科目	前第2四半期 (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)	当第2四半期 (平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで)
売上高	14,515	14,025
売上原価	11,793	11,220
<b>売上総利益</b>	<b>2,722</b>	<b>2,805</b>
販売費及び一般管理費	2,146	2,235
<b>営業利益</b>	<b>576</b>	<b>569</b>
営業外収益	70	49
営業外費用	24	22
<b>経常利益</b>	<b>621</b>	<b>596</b>
特別利益	46	48
特別損失	4	12
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>664</b>	<b>632</b>
法人税等	311	270
少数株主損益調整前四半期純利益	352	362
少数株主利益	20	12
<b>四半期純利益</b>	<b>332</b>	<b>350</b>

## ● 連結包括利益計算書

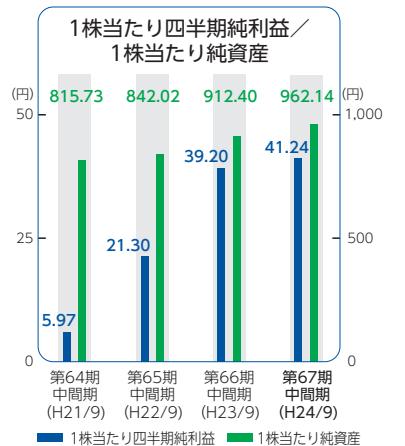
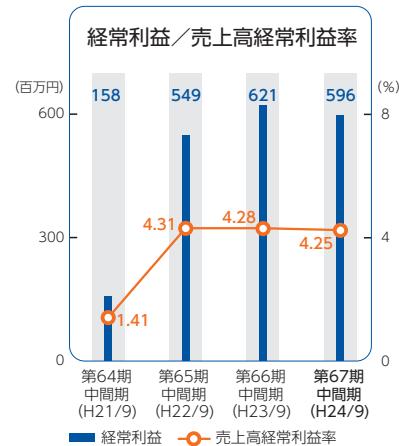
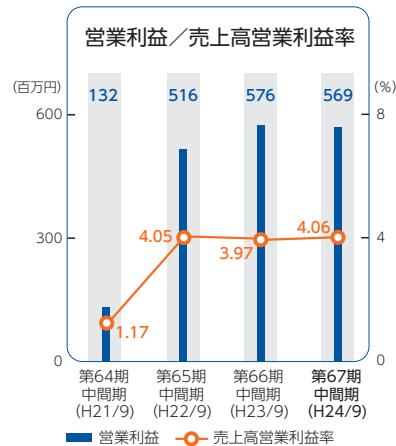
単位：百万円

科目	前第2四半期 (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)	当第2四半期 (平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで)
少数株主損益調整前四半期純利益	352	362
その他の包括利益	△63	△174
その他有価証券評価差額金	△60	△177
為替換算調整勘定	△3	2
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0
四半期包括利益	289	187
(内 訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	278	196
少数株主に係る四半期包括利益	10	△8

## ● 連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

科目	前第2四半期 (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)	当第2四半期 (平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△797	△465
投資活動によるキャッシュ・フロー	28	△699
財務活動によるキャッシュ・フロー	△310	493
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,084	△673
現金及び現金同等物の期末残高	3,126	2,196
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,041	1,522





## 戦略ビジョン2014の推進

わが国の経済はいまだ本格的な回復までに至らず、先行き不透明な状況にあります。また、当社グループの業績は国内製造業の設備投資ならびに生産活動に大きく依存しておりますが、今後、国内製造業の海外生産移管あるいは少子高齢化の進展により、国内市場が縮小することが危惧されます。

当社グループでは、このような状況下にあっても、継続

的・安定的な収益を生むための基盤づくりを行うため平成24年度から平成26年度までを対象として、中期3ヵ年計画「戦略ビジョン2014」を策定いたしました。

この新戦略ビジョンの下、各施策に邁進し、リックスグループは、お客様の課題をより専門的な立場から解決する顧客密着型メーカー商社として、世界の産業界への貢献を果たしてまいります。

### 危機対応3ヵ年計画

平成21年度～平成23年度

- 世界経済危機後に起こる事業環境の変化を予測した対応を重点的に推進目標とする「経常利益10億円(連結)」を1年前倒しで達成

### 戦略ビジョン2014

平成24年度～平成26年度

#### 戦略ビジョン2014

(平成24年度～平成26年度)

##### ビジョン

リックスは、メーカー商社のビジネスモデルをつねに進化させ、高い営業力、高い技術力、高い商品・事業開発力を持つ、付加価値の高いニッチャーになる。

##### 経営目標

経常利益15億円(連結)の達成

##### 事業方針

#### 1 高付加価値化ビジネスモデルの変革

- 1) 営業プロセス改革の継続と生産・技術開発プロセス改革の導入
- 2) 新事業開発の推進
- 3) 新商品・新市場開発の推進

#### 2 海外事業展開の促進

- 1) アジア、特に中国での事業展開の加速
- 2) その他地域への展開検討

#### 3 人と組織の能力向上

- 1) 課題解決型人材(目利き)の継続的な育成と活用
- 2) 幹部候補の計画的な育成
- 3) 組織間連携を司る人材の育成と活用
- 4) 収益の源泉となる活動を支える人材の育成
- 5) 上記1～4の実現に向けて計画的なジョブローテーションを実行する

#### 4 収益の源泉となる活動の強化



## トピックス

### リックスグループのグローバル戦略

長引く円高などを背景に、国内製造業の海外への生産シフトが加速化してきています。このような環境変化に機動的に対応すべく、当社では生産および販売の両面で、アジア・欧州を中心とした海外戦略を重要な経営テーマとして展開しています。

近年、この中でも特に重要な戦略拠点となるのが、当社のお客様も数多く進出している中国・タイです。中国ではこれまで既に製販拠点を設けていましたが、本年4月に駐在員事務所(遼寧省)を新設し、中国北部のマーケット開拓にも努めています。

またタイでは2003年の営業拠点の開設に始まり、2006年には製造子会社の設立など、着々と拠点機能の強化が進んでいます。

当初は現地に進出した日系企業が主なお客様でありましたが、現地のローカル企業にも当社ブランドに対する認知・信頼が順調に高まってきています。これからもメーカー商社としての強みを最大限に発揮しながら、さらなる飛躍を目指し、当社グループはマーケットの深耕・拡大に積極的に努めていく方針です。

### リックスグループ海外ネットワーク

(2012年10月1日現在)





# 会社情報

## ● 会社概要 (平成24年9月30日現在)

- 商号 リックス株式会社
- 英文社名 RIX CORPORATION
- 創業 明治40年(1907年)10月
- 設立 昭和39年(1964年)5月1日
- 資本金 8億2,790万円
- 従業員 330名(連結510名)
- 主要な事業内容 高圧液圧応用機器、精密計測・検査機器等の製造販売

## ● 事業所 (平成24年10月1日現在)

### 信頼と情報を支えるネットワーク網

先進技術、膨大なノウハウ、鋭敏な感性、そしてサービスも含めた高信頼性。これらは、全国に張り巡らされたネットワークをベースに、きめ細かなコンサルティング・セールスを展開することによって獲得してきました。ユーザーとともに歩むメーカー商社リックスは、なによりもお客様との質の高い、多くの接点を大切にしています。



# 株式情報

## ● 株式の状況 (平成24年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 27,600,000株
- 発行済株式の総数 8,640,000株
- 株主数 4,614名

### 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
NOK株式会社	1,167	13.51
リックス取引先持株会	522	6.05
安井玄一郎	508	5.88
リックス従業員持株会	392	4.54
株式会社西日本シティ銀行	382	4.43
安井龍之助	248	2.87
株式会社サニックス	240	2.77
竹田和平	234	2.70
山田貴広	178	2.06
園田和佳子	177	2.05

## ● 株式分布状況

### 所有者別株式分布状況

- 個人・その他 60.44%
- 自己株式 1.59%
- 外国法人等 0.01%
- 金融商品取引業者 0.00%
- 金融機関 14.30%
- その他の法人 23.66%

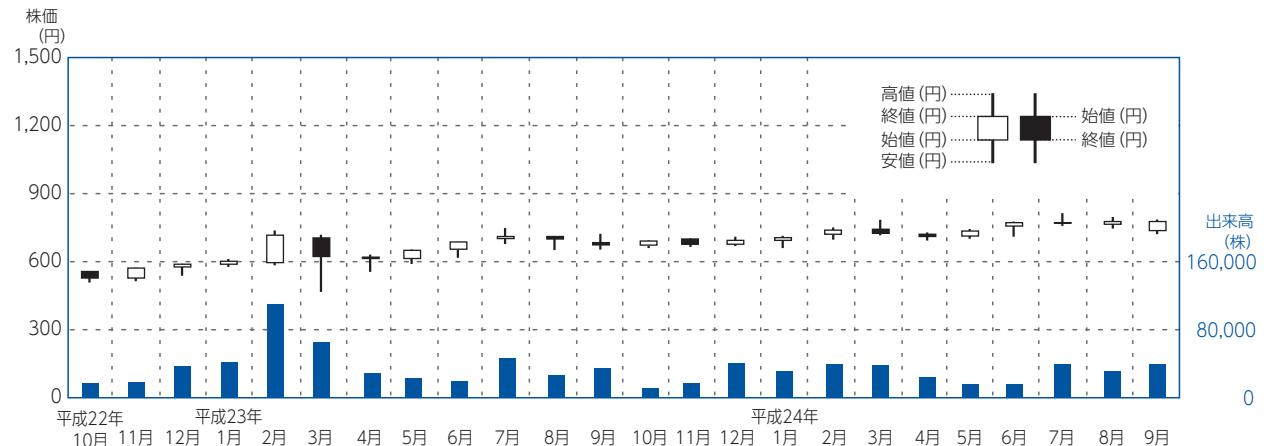


### 所有株数別株式分布状況

- 10単元未満 5.92%
- 10単元以上 4.85%
- 50単元以上 3.14%
- 100単元以上 18.29%
- 500単元以上 10.35%
- 1,000単元以上 31.99%
- 5,000単元以上 25.46%



## ● 株価および株式売買高の推移



## ● 株主メモ

● 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

● 定時株主総会 毎年6月

● 配当金受領  
株主確定日 期末配当金 3月31日  
中間配当金 9月30日

● 株主名簿管理人  
および特別口座の  
口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社  
口座管理機関

### ● 株式に関する各種手続の申込先について

- ・住所変更、単元未満株式の買取請求、買増請求、配当金受取方法の指定等は、お取引口座のある証券会社に申し出てください。ただし、特別口座に記録された株式に係る各種手続につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社に申し出てください。
- ・未払配当金のお支払いにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社に申し出てください。

● 同連絡先 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
☎ 0120-232-711 (通話料無料)

● 公告方法 電子公告により行います。  
公告掲載  
URL <http://www.rix.co.jp/>  
ただし、電子公告によることができない事故、  
その他のやむを得ない事由が生じたときは、  
日本経済新聞に公告します。

● 単元株式数 100株

● 上場証券取引所 東京証券取引所市場第二部  
福岡証券取引所

**RIX** リックス株式会社  
〒812-8672

福岡市博多区山王一丁目15番15号  
TEL (092) 472-7311

**UD FONT**

見やすく読みまちがえにくいユニバーサル  
デザインフォントを採用しています。

## 株主優待制度のご案内

株主の皆様の日頃のご支援にお応えするとともに当社株式への投資の魅力を高めていただくため、株主優待制度を実施しています。



● 割当基準日  
3月31日ならびに9月30日

### ● 優待内容

- ・100株以上1,000株未満所有の株主様  
▶ クオカード1,000円分
- ・1,000株以上10,000株未満所有の株主様  
▶ クオカード2,000円分
- ・10,000株以上所有の株主様  
▶ クオカード5,000円分

当社では、IR専用のホームページを設けて、決算情報等のIR関連の情報をタイムリーに配信しております。ぜひご活用ください。

<http://www.rix.co.jp/>

リックス株式会社

検索

The screenshot shows the RIX investor relations website. The main content area is titled '会社情報' (Company Information) and includes a '財務情報' (Financial Information) section. The financial information table lists various metrics such as '売上総利益' (Gross Profit), '営業利益' (Operating Profit), and '純利益' (Net Profit) for the periods ending in March and September of 2011 and 2012. The table also includes '株主総数' (Number of Shareholders) and '発行済み株式数' (Issued Shares). The website has a blue header with the RIX logo and navigation tabs for '最新情報' (Latest Information), '会社情報' (Company Information), and 'IR情報' (IR Information).